

マーケットの動き (2023年12月4日～12月8日)

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

週初は労働需給の緩和や賃金インフレの鈍化を背景とした米国金利低下が相場を下支えしましたが、欧米の製造業受注や中国輸入の伸び鈍化などから米国の景気後退懸念が強まり軟調に推移しました。その後、生成AIを巡る新たな発表が相次ぎ成長期待が高まったことや、米国ミシガン大学の発表において消費者心理の改善と期待インフレ率の低下がみられたことなどを好感し、米国株式は上昇して週を終えました。

欧州株式市場は、中国の財政政策強化の報道を好感し、米国を上回る推移となりました。

投資環境見通し (2023年12月)

外国株式相場は、米国では底堅く推移するも上昇余地は限定的、欧州では上値が重い

企業業績については、これまでの利上げの影響に加え、個人消費の先行きに対する慎重な見方もあり、やや減速するとみています。米国株式相場は、長期金利が上昇するとの見方が後退する中、景気の軟着陸や年末に向けた上昇相場に対する期待から、底堅く推移するとみています。足元の反発局面で割安感は後退しており、企業業績の減速見通しも勘案すれば、上昇余地も限定的とみています。欧州株式相場は、長期金利の上昇一服は支援材料とみられますが、域内景気動向に連れて企業業績の下振れ懸念が広がり、また中国景気の鈍化もあり、上値の重い展開になるとみています。

	12月8日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,604.37	0.21%	5.06%	7.23%	16.17%
NYダウ	36,247.87	0.01%	6.26%	7.14%	7.30%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

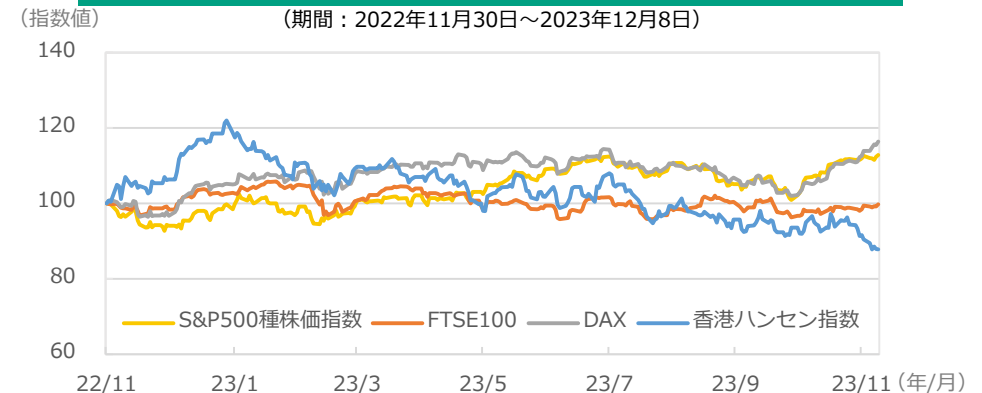
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202312_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2022年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成